

平成30年度行政評価推進会議における事務事業評価結果一覧

No.	仕事の内容 【主管課】	① 総事業費 ② 事業費 (人件費除く) ③②のうち 一般財源	仕事の目的		開始 年度	市民事業評価会議評価結果										行政評価推進会議評価	
			どのような状態にしたいのですか	そのために何をしましたか		主な意見	事業の方向性					予算の方向性			今後の方向性について		
							拡大	現状維持	やり方の改善	縮小	休止又は廃止	受益者負担見直し	増加	維持		削減	
1	市報発行事業 【秘書広報課】	①39,438,072 ②22,932,072 ③22,810,072	市民が、定期的に発行する紙面並びに声の広報により、市政やイベントなどの情報入手することができる。	①毎月2回の定期号（1日号、15日号）の市報を発行した。 ②市報の発行に合わせ、視覚障害者用の「声の広報」を発行した。	S31	・月2回の発行だが、デリバリーするだけで予算の半分かかっている。月2回発行する必要があるのか。 ・発送費用を抑えて中身を充実させる方がよい。 ・市報は見やすくすばらしい。 ・他の媒体との統合や発行のタイミングを変えることで経費削減ができないか。 ・働き方改革なども捉えるとよい。		2	4	1					6	1	多くの市民が市の情報の入手先として市報を挙げているため、今後も適時・適確な情報提供に努めるとともに、より魅力的な紙面づくりを行う。また、他の広報物との統合や発行回数等、発行のあり方について、すみやかに関係部署と調整を行い、市民への影響や費用対効果を踏まえながら効率的なものとなるよう研究を進めて行く。
2	東大和市事業資金融資斡旋事業 【産業振興課】	①30,602,400 ②24,000,000 ③24,000,000	市内の小規模事業者が、資金を市内金融機関からの融資で調達することにより安定的な事業継続を図ることができる。	申請者である市内の小規模事業者に対して市内金融機関（市が預託金を預けている金融機関）に融資の斡旋を行う。	S51	・よい制度だと思う。 ・もっとPRして利用者を増やし、産業を活性化させたほうがよい。 ・景気が回復していくと、この制度を活用していく人が増えると思う。 ・この制度の今後の方向性を見極めるために、傾向分析が必要ではないか。		1	6						7		市内の産業を活性化させるため、市内金融機関との協議による金利引き下げ等の検討や小規模事業者に対する情報提供の機会を増やす。また、市内金融機関との連携により課題や情報の分析を進めていく。
3	小規模保育事業 【保育課】	①252,981,570 ②251,330,970 ③48,157,300	小規模保育事業所を利用できる世帯の保護者は育児と仕事の両立、児童は適切な保育を受けられる。	市内に住所がある児童が小規模保育事業所を利用した際、当該小規模保育事業の運営者に補助金を交付した。	H27	・保育サービスは、色々な事情を抱えた人が利用するので、どこまでの必要性があるか見極めないとわからない。 ・保護者の利便性を求めすぎると子どもはどうなってしまうのか。 ・意外と保育園の数が多いと感じた。 ・「日本一子育てしやすいまち」をどのくらいまで目指すのか。 ・どこまで行っても潜在ニーズがある。どこまで整備すればいいのか。手の打ちようがないのがわかる。 ・ニーズの変化に対応しないといけない。 ・真の問題は、子育てとはどうあるべきかということである。		5	1						6		今後の保育ニーズの動向を注視しながら、平成30年度に実施する、子ども・子育て支援ニーズ調査の結果も踏まえ、時代の変化や保育ニーズに対応した事業展開が図られるよう検証を進めていく。
4	認証保育所補助事業 【保育課】	①37,646,740 ②35,996,140 ③17,948,140	認証保育事業所を利用できる世帯の保護者は育児と仕事の両立、児童は適切な保育を受けられる。	市内に住所がある児童が認証保育所を利用した際、当該認証保育所に補助金を交付した。	H13	・事業費は減らしていけるのか。 ・目標値の設定は小学生と中学生を分けて、もっと高く数値設定し、取り組んだほうがよい。 ・学校給食は栄養バランスや食育など色々な工夫や努力などをして提供されている。 ・給食費は取扱を明確にして公費として徴収を確実にすべきと思う。		5	1						6		事業費について再精査し、縮減に努める。また、残菜の目標値について再検討を行うとともに、給食の更なる工夫や大切さなど学校、家庭、事業者等と連携して食育の推進を図っていく。
5	学校給食センター運営事業 【給食課】	①363,585,075 ②338,826,075 ③338,826,075	市立小中学校に在学するすべての児童・生徒に、バランスのとれた給食を提供することにより、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけることができる。	東大和市学校給食の栄養所要量の基準及び標準食品構成に基づき作成した献立をもって調理した給食を給食センターから各小中学校に提供した。また、食に関する理解を深めるため、食に関する情報を「給食だより」等で提供するほか、栄養士が各学校を訪問し、食に関する指導を行った。	S42	・ボランティア、学生、市のホームページのトップページなどを通じて、本人の価値、建物の価値をお金をかけずに上手に広めてほしい。 ・演奏会などのイベントと合わせることはよいことだと思う。 ・観光資源となりえるのではないか。 ・ファンが増えれば整備が出来るのではないか。先に整備ありきでなくてもよいと思う。		3	3						6		建物や作品の魅力を広められるようなイベントを行い、市公式ホームページやSNSなどを活用し情報発信していく。引き続き費用対効果を踏まえ、また、文化財ボランティアの協力を得ながら公開を継続していく。
6	(仮称) 東大和郷土美術館の公開 【社会教育課】	①7,403,288 ②3,276,788 ③3,276,788	市民が、当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二画伯の作品に触れ、芸術作品を身近に感じ、芸術文化の素養を高めることができる。	整備途中である美術館の公開を行い、吉岡堅二画伯の作品展示とアトリエの公開、各種イベントを開いた。また、登録有形文化財に登録されたことを記念して式典、及び図録、ポストカードを作成した。	H5	・ボランティア、学生、市のホームページのトップページなどを通じて、本人の価値、建物の価値をお金をかけずに上手に広めてほしい。 ・演奏会などのイベントと合わせることはよいことだと思う。 ・観光資源となりえるのではないか。 ・ファンが増えれば整備が出来るのではないか。先に整備ありきでなくてもよいと思う。		3	3				3	2		建物や作品の魅力を広められるようなイベントを行い、市公式ホームページやSNSなどを活用し情報発信していく。引き続き費用対効果を踏まえ、また、文化財ボランティアの協力を得ながら公開を継続していく。	

※評価結果欄の数字は、方向性を示した委員の人数です。(合計数＝出席人数ですが、(仮称)東大和郷土美術館の公開の「事業の方向性」のみ複数回答がありました。)